

バスケットボール戦評

大会 平成26年度 県民総合体育大会 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会
日時 平成 27 年 1 月 18 日 日 曜日 第 1 試合 A コート 時刻 10:00
場所 上尾運動公園体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
		19 — 23 15 — 11 17 — 11 18 — 13		
埼玉栄 高校	69		58	正智深谷 高校

<戦 評>

昨日決勝リーグ初戦で勝利を挙げ、この試合に勝って関東大会出場を決めたい埼玉栄と、関東大会出場のためには負けられない試合となる正智深谷の熱い戦いが期待される一戦。

- 1P お互いマンツーマンディフェンスでスタート。出だし正智が#11の3Pを皮切りにスタートダッシュに成功。埼玉栄は正智の粘り強いディフェンスに対して長身センター#9にボールがうまく入らず得点が伸びない。残り2:46で 9-20 と正智が3Pをよく決め、大きくリードしたところで埼玉栄がたまらずタイムアウト。ここから、埼玉栄#4のミドルシュート、#5のポストプレーによる得点などでゲームの流れを引き寄せ、19-23 と4点差まで詰めて、終了。
- 2P 埼玉栄は持ち味であるセンターにボールを集め、#5のパワープレーと#9のブラインドプレーで得点。残り7:23で 28-28 の同点とする。その後正智は対抗してセンター#8がハイポストから果敢に攻め、対する埼玉栄も#10が積極的にドライブを仕掛けファウルを誘いフリースローで得点するなど互角の展開となる。34-34 同点で前半終了。
- 3P 後半に入っても埼玉栄はセンターを中心に攻め、正智は3Pでつないでいくという一進一退のゲームとなる。残り3分を切ったところから疲労の見える正智は動きが止まり得点が伸びない。一方、センターを使い着実に加点した埼玉栄が、51-45 と6点リードして最終ピリオドへ。
- 4P なんとか追いつきたい正智だが、なかなか活路が見いだせない。残り6:30 56-49でたまらず正智がタイムアウトをとるが、逆に埼玉栄が#5、#9のポスト&ポストプレー、#5の力強いリバウンドなどで 残り5:34 60-49 とリードを広げ、正智が再びタイムアウト。正智は、最後の力を振り絞り、反撃を開始。#6の3P、#4のドライブで60-54と6点差まで盛り返すが、埼玉栄#5の頑張りど#11の3Pで万事休す。67-58 9点差で埼玉栄が勝利し、新人関東大会への出場を決めた。